

■ 関西大学・奈良県明日香村共催『飛鳥史学文学講座』 ■

『山陵図』に隠された「シーボルト事件」をめぐる謎に迫る！

～ 宮内庁陵墓調査官・徳田誠志氏（本学OB）が最新の調査経過を初公開 ～

【日 時】7月9日（日）13:15～15:15 【場 所】明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村川原）

このたび、関西大学と奈良県明日香村が共催する『飛鳥史学文学講座』の2017年度第4講（特別講座2講を含む全12講）として、宮内庁陵墓調査官・徳田誠志氏による講演「F. シーボルトの持ち帰った『山陵図』－ライデン国立民族学博物館の調査から－」を、7月9日（日）13:15より明日香村中央公民館にて開催します。

本件の
ポイント

- ・現役陵墓調査官による海を越えた文化財の最新の調査経過報告。
- ・シーボルトが持ち帰った『古山陵之図』と橿原考古学研究所等が所有する『山陵図』を比較研究した結果、『古山陵之図』に「シーボルト事件」をにおわせるいくつかの「謎」を新発見。
- ・本研究は國學院大學と推進する研究の一環であり、今回の講演内容は初公開。

徳田調査官は國學院大學の推進する研究に参画し、シーボルトがオランダに持ち帰った考古学資料を中心とする日本文物の調査研究を行っています。そのうちのひとつである『古山陵之図』は、シーボルトにより1824年に長崎市内に開設された私塾「鳴滝塾」で学んでいた若き日の高野長英が、江戸時代の天皇陵を描いたものであると考えられています。徳田氏は本年2月、この絵図をオランダにあるライデン国立民族学博物館において熟覧調査を行いました。帰国後、その『古山陵之図』と奈良県立橿原考古学研究所等が所有する『山陵図』を比較研究した結果、『古山陵之図』に「シーボルト事件」をにおわせるいくつかの「謎」を発見しました。今回の講演では、本邦初公開となる最新の調査経過を報告いただき、受講者の皆様とその謎解きを試みます。

『飛鳥史学文学講座』は、1972年に故網干善教名誉教授を責任者とする本学考古学陣が高松塚古墳において日本初の壁画を発見したことを契機に、大学の研究成果を広く社会に還元することを目的として、関西大学と明日香村の共催により1975年に始まりました。毎年、本学教授ならびに本学出身の研究者を中心とした講師が、考古学に関する多彩なテーマで年間約10講を開講しています。今年で開講から43年目を迎え、受講者は延べ10万人を超えており、考古学ファンをはじめ多くの方々に好評を博しています。

つきましては、ご多忙の折大変恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願いいたします。

記

【日 時】 7月9日（日）13:15～15:15

【場 所】 明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村川原 近鉄「岡寺」駅から徒歩約15分）

【講 師】 宮内庁書陵部陵墓課 陵墓調査官 徳田 誠志 氏（関西大学OB）

【テーマ】 「F. シーボルトの持ち帰った『山陵図』－ライデン国立民族学博物館の調査から－」

【備 考】 本講座は、第4講として当初予定されていた「飛鳥浄御原宮と伊勢神宮」（講師：橿原考古学研究所所長 菅谷文則氏）の代替講座です。

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが **7月7日（金）まで**に下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

